

十分な対策のため けた違いの財政措置を

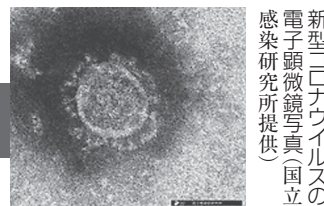
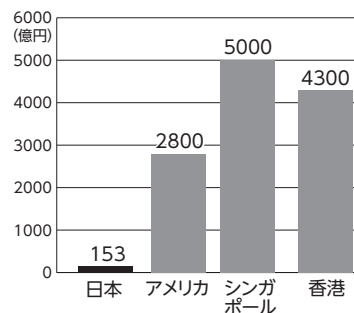
日本共産党は提案します

予算案は
対策費ゼロ

政府の新型コロナ対策費は153億円。全く足りません。シンガポールは約5000億円（グラフ）。十分な対策には桁違いの財政措置が必要。今年度の予備費の残り2743億円を全面活用すべきです。

来年度予算案には対策費が1円も入っていません。野党が約2500億円の抜本的組み換え案を共同提案したのに自民、公明、維新が否決したのは許せません。財源の裏付けのある具体策を早急に打ち出すことが必要です。

新型コロナウイルス対策予算



感染防止策こうして

1、受け入れ体制の確立

感染拡大防止へ、医療体制の強化がカギを握っています。

重症患者の入院に必要な病床・病棟の確保はもちろんのこと、外来診療も今後一般医療機関でも

受診できるようにする

には、一般患者とは別の入り口や診察室、人員の確保が必要です。医療従事者など院内感染防止へ、マスク、防護服、目や顔を覆うシールドなどの提供も急がれます。そのための財政支援が必要です。

2、検査機体制の確立

検査体制の確立も急がれます。

大学や民間検査機関などの力を総結集し、急いで検査体制を拡充することが必要です。短時間で検査結果が出る簡易検査キットの早期開発、供給も重要です。

3、相談体制の強化

気軽に相談でき、相談者・患者の不安に応え、正確な情報提供と対応ができる体制も求められます。保健所などの力も得て、専門的な知識を持つ人が対応する体制の確立が必要です。

国民の信頼こわす 安倍政権



コロナ対策を進めるうえでも政治への信頼を取り戻すことが必要です。安倍政権のやっていることは逆です。

検察官定年延長

解釈一転 人事私物化

安倍政権に近い黒川弘務検事長を検事総長にするため、法律とその解釈を覆して定年延長を強行。検察への政治介入、司法の独立の破壊です。

「桜」疑惑

首相答弁 ホテル否定

「桜」前夜祭会場となったANAホテルが首相答弁を否定する内容を書面で示しました。公職選挙法違反などの疑惑はますます深まっています。

カジノ(IR)

問われる癒着

逮捕・起訴された秋元司被告（内閣府元カジノ担当副大臣、自民党を離党）だけでなく、他の政治家のカジノ企業との癒着も問われています。

ウソ・偽りのない政治に

日本共産党